

富山善銀

第171号

発行所
公益社団法人
富山県善意銀行
富山市桜橋通り1-18
北日本桜橋ビル5階
電話・FAX(076)431-2239
印刷所
北日本印刷株式会社



【第53回 趣味の作品合同展 富山県民会館】

私たちの活動

(1) 親切善行活動

(2) 福祉活動

(3) 啓発活動

(4) 貸し出し活動

(5) 拡充活動



子どもはおもしろい

富山県教育委員会 教育長 宮口 克志

小学校六年生の算数科「分数のかけ算・割り算」の学習をしていたときのことです。A君が「お父さんに、『分数の割り算ってどうして割る数の分母と分子をひっくり返してかけるの?』と聞いたら、『つべこべ言わずにひっくり返してかければいいんだ』と言われた」と、なんと胸に落ちない表情で発言しました。

また、「普段、分数のかけ算や割り算を使うことがないのに、どうして勉強するのだろう」と疑問に思ったB君は、休日に自宅近くのスーパーマーケットに出かけ、買い物に来ていたお客さんに「分数のかけ算や割り算を使うことはありますか?」とインタビューしたところ、「使ったことがあると答えた人は一人もいなかった。ますます疑問が深まった」と発言していました。

子どもたちは、こうした様々な疑問を抱きながら学習を進め、単元の終わりに、これまで学習してきた整数や小数の割り算も分数と同様に、割る数の分母と分子を入れ替えた数(逆数)をかけていたことに気付くなど、整数や小数、分数いずれの四則演算も計算方法は共通しているという演算の本質を学んでいきました。

私はこうした子どもたちと出会い、「今日は子どもたちがどんなことを言ってくるだろう」と、普段の授業ではワクワクしながら、研究授業において、ワクワク感に加えてちょっぴりハラハラ、ドキドキしながら授業をしていたことが懐かしく思い出されます。

しかしながら最近では、学校訪問等で授業を参観していても、子どもらしい言動があまり見られず、教科書に書かれている内容から逸脱したり発展したりする授業に出合うことが少なくなりました。

小・中学校においては、指導内容が増え、教科書のページ数が増加したこと、そして、教員は教科書を使って丁寧に指導しようとするため、子どもならではの発言が生まれる機会が少なくなったのではないかと推察しています。

謹んで新年のお慶びを申し上げます

令和七年 元旦

(公社) 富山県善意銀行
理事長 河合 隆

役員一同

富山県教育委員会が理念やエッセンスを取り入れることを推進しているイェナプラン教育の「二十の原則」には、第一に「すべての人はユニーク・どんな人も、世界にたった一人しかいない人です。つまり、どの子どももどの大人も一人一人がほかの人や物によって取り換えることのできない、かけがえのない価値を持っています」とあります。

授業で子どもらしい自由でユニークな発想がみられ、そしてそれらが生かされているということが、「個別最適な学び」には不可欠な要件ではないでしょうか。

「趣味の作品合同展」を 県民会館美術館で開催しました

「第53回老人福祉施設趣味の作品合同展」を9月18日(水)19日(木)に開催しました。昨年度での地下展示場から1階美術館bに会場を変更しました。そのお陰か、例年より多い500人近い方が来場參觀されました。会場を変更したことで次のようなメリットが出てきました。

- ・車椅子や歩行器を使用している參觀者がたくさん来場できるようになりました。地下展示場へのエレベータは小さく車椅子が1台しか入りませんでした。また、お年寄りには階段の昇降が負担になっていました。今年から、1階になって助かったと喜んでおられる来場者が何人もおられました。
- ・美術館bの天井は地下展示場よりかなり高く、各施設の展示スペースは1〜2割ほど広くなりました。



写真のように、台車に乗って上部まで掲示できるように、ゆったりとした作品掲示をすることができるようになり、どの作品もよく見えるようになり、また、上下のスペースを生かした展示が増えました。

【今年の合同展の概要】

今年の「趣味の作品合同展」には、昨年より4団体増え、22団体が参加してくださいました。また、コロナ前には届きませんが、かなり戻ってきました。今年の出品の状況は以下の通りです。

- ・参加施設数 22施設(作品比4施設増)
 - ・出展数 537点(昨年比163点増)
 - ・出展者 626名(昨年比265名増)
- *年代別
- 70歳未満…8人
 - 70歳代…95人
 - 80歳代…317人
 - 90歳代…192人
 - 百歳代…14人

【出品作品について】

- ・個人作品の書、絵画、俳句、手芸品など、参加者の皆さんの特技を生かしたのやキットを使って丁寧に作られた作品がたくさんありました。



共同作品は、グループで力を合わせて作った力作が多く、大きくて見栄えがあるものが並びました。上の写真のように個人の手作業でウサギを作って、それを上手に配置してみんなで楽しむお月

見を表現できています。



【来場者の感想】

- ・この展覧会に出品することを目当てに作品を作ってきました。自分の作品が飾られることはとってもうれしいです。
- ・他の施設の作品がとても刺激になっていきます。参考に来年作りたいなと思いました。
- ・老人福祉施設になっていきますが、作っている私たちの気持ちは壮年です。表題を変えてくれると嬉しいです。
- ・恩師の作品がありびっくりしました。高齢者施設でお元気にされているのが分かって嬉しかったです。私のことを覚えておられればよいなと思いました。



いろいろな施設の作品を見ながら、參觀者の温かい声が会場内に響いていました。時には写真のように、会場がいっぱいになり、和やかに楽しそうに參觀しておられました。

【利用施設へのアンケートから】

毎年作品展が近づいてくると、利用者様と職員は気合いが入り、「今年はどんな作品を作ろうか」と話し合い、作品作りを楽しんでいます。利用者様の高齢化と病気の進行があり、手が動かなくなったり、静養する時間が長くなったりとなかなか思うように作品ができなくなりました。でも、年に1回、利用者様と職員が一致団結するよい機会ですので続けていきたいと思えます。(施設S)

自分で作ったものが飾ってあつてよかったです。他の施設の作品を見て、来年はこんな作品を作ってみたいと意欲的でした。(施設H)

本施設は、初めての参加でした。来年もまた参加させてほしい。(施設T)

県内46の「子ども食堂」に
11万円ずつ活動費を贈りました

本行では、県内の子ども食堂の活動を支えている「子どもほっとサロンネットワーク」と協力し、預託金を子ども食堂に届けました。

今年は8月末までに、子ども食堂への寄付金がたくさん集まりました。各子ども食堂に富山市のT様より4万円、舟橋村のM様より6万円ずつ、その他にKDDI様より20万円、日本エージェンシー様より10万円、富山県善意銀行から16万円を元に、寄付を希望さ

れる子ども食堂46カ所に11万円ずつ届けることができました。

県内の子ども食堂は、現在全ての市町村にでき74カ所に増えました。しかし、どの子ども食堂も運営費を寄付等に頼っており、物価高の中活動が厳しいと聞いています。その中で今回の寄付は、とても喜ばれました。いくつかの感想を紹介します。

●子ども食堂は、普段から経費が厳しく食事を提供するのがやつの状態でした。今回の寄付金は、楽しめるイベントや衛生管理に使い、これまで以上に楽しく安全な子ども食堂を目指します。

●毎年、来年続けられるか不安です。今回の寄付で来年も続けられそうです。

●1回の開催で約200名が利用しています。寄付で食材やリクレーション費をまかなえ助かっています。

●10年使用していた炊飯器を買い換えることができました。寄付金のお陰で、肉や魚を十分に購入でき、朝食を再開することができました。

●弊子ども食堂はシングルファミリーや困り事を抱える家族が来ています。寄付金は、仕事帰りで疲れて食事の用意が厳しいときや病気で食事が準備できない方のために保存食を多く準備できました。また、子供たちの遊び時間を

豊かにするための絵本や書籍を揃えられました。

●子ども食堂では、精神疾患を患い家事や育児が困難な世帯にお弁当を届けています。中には、食事が十分に取れない子やお風呂に入れてもらえない子もおり、ネグレクトなどの虐待につながる場合もあります。このような家庭に、食事を届けるだけでなく、定期的な接点をもち寄り添い孤立しないように見守っていききたいとつとめています。寄付を大切に使います。

第62回善意色紙等頒布展

令和6年12月6日～8日の3日間、富山県民会館で開催しました。今回も左のようにたくさん作品を提供していただき、多くの参観者が来場されました。

| | | |
|----------|------|--------|
| ● 絵面色紙等 | 208点 | (142名) |
| ● 絵画軸物 | 3点 | |
| ● 名土色紙 | 23点 | |
| ● 名土軸物 | 12点 | (16名) |
| ● 書家色紙 | 27点 | |
| ● 書家軸物 | 2点 | (17名) |
| ● 芸能 漫画家 | 35点 | (20名) |
| ● 押し花 | 21点 | (3名) |

親切運動推進協力委嘱校の取組紹介 親切運動の輪が広がっています

地域の方と一緒に挨拶運動

魚津市立道下小学校

本校では、毎朝、企画委員が児童玄関前に立ち、挨拶運動を行っています。少しでも明るい気持ちで挨拶ができるよう、全校児童からマスコットを募集し、各学年の作品を数点ずつ選びブラカードにして活用しています。また、「にこにこあいさつボランティア」と題して、各学級に挨拶運動への参加を呼び掛け、日替わりで学級ごとに、希望者が挨拶運動に参加しています。企画委員だけではなく、各学級の児童が参加することで、明るく元気な雰囲気広がっています。



昨年10月からは、毎月第2週を挨拶強化週間とし、朝の挨拶運動に民生児童委員の方にも参加していただけるようになりました。「目が合うようになりましたね。」「子供たちから元気をもらいます。」など、地域の方からいただく声を全校児童に紹介しながら、よりよい挨拶が広がるよう呼びかけています。

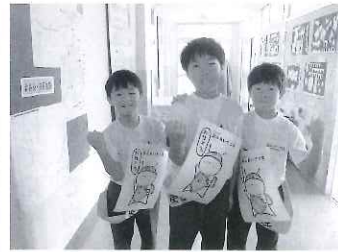
子供たちが主体となって、みんなが輝く学校へ

射水市立金山小学校

本校は、全校児童数57人と小規模校であり、小規模のよさを生かした活動が多くある。

毎朝、互いのよさを認め合う活動として、「すてきエピソード」を紹介している。全校から募集した「すてきエピソード」を、毎朝の校内放送で紹介している。それに加えて、楽しく1日がスタートできるよう、音楽を流したりじゃんけんを取り入れたりするなど工夫をしており、朝から気持ちのよいスタートを切ることができている。

また、あいさつ運動を積極的に行っている。朝の挨拶はもちろん、学校ですれ違う来校者に明るく「こんにちは」と挨拶ができる児童が多い。「あいさつ名人」と呼ばれる児童が3名いる。「あいさつ名人」は次の名人を紹介し、次々と「あいさつ名人」が生まれている。「あいさつ名人たち」は、



全教室を回り、全校児童に明るい挨拶をしている。活動を通して、他の子供たちもその姿を見て、明るい表情で挨拶を返す姿がたくさん見られるようになっている。

みんなが取り組む親切運動

滑川市立早月中学校

1 資源回収

春と秋の年2回、生徒と地域の方が協力して、地域の家庭から出た新聞紙や雑誌、缶、瓶等を回収し分別をしています。活動を通して、資源の大切さを生徒一人一人が学ぶことができたり、地域の方と共に活動することで、社会の一員として地域を考えたりするよい機会となっています。



2 ブチボラ
生徒会執行部が企画している、月1回の朝のボランティア活動です。ふれあいホールのごみ拾いやグラウンドの草むしり等、学校の様々な場所の清掃活動を行っています。一人一人が積極的に参加し、ふだん何気なく使っている活動場所に感謝をしながら取り組んでいます。最近では、生徒主体の自主活動が定着し、その活動が伝統となって毎年受け継がれています。

仲間と共に取り組むボランティア活動

砺波市立庄川中学校

1 「庄川観光祭」後の地域清掃

環境・ボランティア委員会の呼びかけに応じて、多くの庄川中学校の生徒が自主的に参加しました。登校前に、観光祭で入出が多かった場所を中心にごみ拾いを行いました。仲間と語りながら、小さなごみも見逃しません。さわやかな朝のひとつとなりました。



2 自分たちの手で環境整備

グラウンドの石が気になって、思っきり走ることでできるグラウンドにするために、石拾いをしました。今年度の生徒会では、全校生徒を、異学年からなる3つのチームに分けて、「チーム活動」をすることで切磋琢磨しています。チーム対抗で、どれだけグラウンドをきれいにするのか、楽しみながら取り組みました。



10987
魚富立 山立 津山山 善愛波 善善 善善
銀行銀 銀行銀 銀行銀 銀行銀
464444 444444 3766

第61回 親切善行感謝の集い

今年も身の回りで小さな善行
行っている方々を顕彰する集い
を開催します。

日時 令和7年2月15日(土)

13時30分～15時30分

場所 富山県教育文化会館
大ホール

内容 (富山市舟橋北町7の1)
「アトラクション」
大阪音楽大学同窓会
「幸楽会」コンサート
「式典」

式辞 顕彰状贈呈
祝辞 等

児童生徒学生さんたちの善行
者、一般の方の単年度、5年以
上、10年以上、15年以上取り組
まれた善行者の方々の善行を紹
介し顕彰します。

大阪音楽大学同窓会の皆さん
のすてきな歌声も聴けます。
参加は無料ですので、たくさ
んの方々のご来場をお待ちして
います。

14131211
射滑黒氷
水川部見
市善善善
善善善
銀銀銀
平々々 昭昭昭
20585049
・・・
1959

とやまのことなら

北日本新聞



ニュースサイトは **webun+**
»» webun.jp

〒930-0094 富山市安住町 2-14
TEL 076-445-3300



すべての人々の幸せと発展のために。

SHINAGAWA

(株)品川グループ本社

トヨタモビリティ富山(株) 富山ダイハツ販売(株)
トヨタL&F富山(株) 山室重機(株)

〒930-0018 富山市千歳町2丁目5番26号
Tel.076-444-4141
<https://www.shinagawa-group.co.jp/>

会報への掲載広告を募集しています。詳細については、事務局にお問い合わせください。